

中心市街地活性化の目標

5つの目標設定

基本コンセプトである「集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。」の実現に向けて、中心市街地の現況、抱えている課題から、中心市街地活性化のための5つの目標を設定しました。

課題1

既存施設を活かした
来街者増加と
回遊性の向上

課題2

居住環境の向上
による住みやすい
まちづくり

課題3

商店街の魅力向上と
中心市街地活性化の
担い手の育成

目標
01 人々が集い
にぎわうまち

▶ P.33-34

目標
02 芸術文化が
香るまち

▶ P.35-36

目標
03 暮らしたくなる
まち

▶ P.37-38

目標
04 チャレンジ
できるまち

▶ P.39-40

目標
05 市民がつくる
まち

▶ P.41-42

目標内容

01 人々が集い①にぎわうまち

これまでの取組

- 第1期、第2期計画を通して、エリアなかいちの整備や秋田駅西口駅前広場(芝生広場)整備など、官民ともにさまざまな施設整備を実施してきました。
- また、各種イベントを実施し、中心市街地の活性化に取り組んでいます。

なかいちウィンターパーク② 芝生広場でのイベント

今後の取組方針

各種イベントなど③にぎわいの波及

今後の主な取組

- 広小路バザール 中心市街地に定期的ににぎわいを形成するとともに県内事業者の中心市街地への出店機会を創出することを目的とし、歩行者天国の広小路にアットマーケットなどが並びます。
- これが秋田だ!食と芸術大祭典 県内の芸能・祭り・食・スポーツが集結するイベントを春季に開催し、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、各地域の夏祭りへの誘客を図ります。県内外からの観光誘客と周辺観光の拡充に取り組みすることにより、人口の拡大が期待されます。

期待される効果とそのイメージ図

目標指標と目標値

目標指標	現状 (R4)	目標値 (R9)
歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	24,738人	33,300人

フォローアップ

- 最終目標値はR9年度の33,300人とし、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しと⑦をします。

- ① 目標名称
- ② これまでの取組
- ③ 今後の取組方針
- ④ 今後の主な取組
- ⑤ 期待される効果とそのイメージ図
- ⑥ 目標指標と目標値
- ⑦ フォロアアップ

02 芸術文化が香るまち

03 暮らしたくなるまち

04 チャレンジできるまち

05 市民がつくるまち

目標
01

人々が集いにぎわうまち

これまでの取組

- 第1期、第2期計画を通して、エリアなかいちの整備や秋田駅西口駅前広場（芝生広場）整備など、官民ともにさまざまな施設整備を実施してきました。
- また、各種イベントを実施し、中心市街地の活性化に取り組んでいます。

なかいちウィンターパーク



芝生広場でのイベント



今後の取組方針

各種イベントなどによるにぎわいの波及

今後の主な取組

広小路バザール

中心市街地に定期的なにぎわいを形成するとともに県内事業者の中心市街地への出店機会を創出することを目的とし、歩行者天国の広小路にテントマーケットなどが並びます。



これが秋田だ！食と芸能大祭典

県内の芸能・祭り・食・スポーツが集結するイベントを春季に開催し、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、各地域の夏祭りへの誘客を図ります。県内外からの観光誘客と県内周遊観光の拡充に取り組むことにより、交流人口の拡大が期待されます。



これらの事業の推進によって、下記のような効果が期待されます！

- ✓ 市民や観光・ビジネスなどで訪れるさまざまな人が中心市街地へ訪れる機会・目的を創出します。
- ✓ イベントに訪れた人々が会場のみならず中心市街地を周遊することで新たな魅力を発見します。
- ✓ イベント時以外においても中心市街地を訪れるリピーターを獲得し、中心市街地への来訪者の増加が期待されます。



目標指標と目標値

目標指標

中心市街地の歩行者と自転車の通行量（平日・休日の平均）を目標値とします。

目標値の設定

- 目標値はR9年度の歩行者・自転車通行量とします。
- 目標値の設定は、H29年度から新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度までの傾向と、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているR3年度からR4年度の傾向を基に設定しています。
- また、あきた芸術劇場ミルハスや秋田市文化創造館など新たな施設整備に伴い、「中土橋」の通行量も組み込んだうえで目標値を設定しています。

目標指標	現況（R4）	目標値（R9）
歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）	24,738人	33,300人

フォローアップ

- 最終目標値はR9年度の33,300人とし、毎年、歩行者・自転車通行量の調査を行い、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しなどを行います。

芸術文化が香るまち

これまでの取組

- 芸術文化ゾーンに、秋田県と秋田市が共同であきた芸術劇場ミルハスを整備し、令和4年6月に開館しました。同ゾーンを中心に、「芸術文化の香り高いまちづくり」を目指し、各施設で情報発信やイベントなどに取り組んでいます。

あきた芸術劇場ミルハス



アキタミュージックフェスティバル (Akita Music Festival)



今後の取組方針

芸術文化と身近にふれあえる環境づくり

今後の主な取組

佐竹史料館改築事業

老朽化が進んだ現在の建物を取り壊し、現地での建て替えを行う事業です。本事業によって、秋田藩の歴史を詳しく、楽しく伝える施設、市民の郷土学習を支援するとともに人材育成に寄与する施設、貴重な歴史遺産を後世に継承しながら、地域活性化に寄与する施設、誰もが気軽に訪れ楽しむことができる施設を目指します。



芸術文化のまちづくり推進事業

市民の芸術文化の発表・鑑賞の機会の拡大および担い手の確保・育成による市民文化の振興、秋田ならではの芸術文化事業によるにぎわいの創出の好循環を図り、本市文化の継承・創造による芸術文化のまちづくりを推進します。



これらの事業の推進によって、下記のような効果が期待されます！

- ✓ 秋田市の歴史・文化を活かした都市型観光により交流人口の拡大が期待されます。
- ✓ 市のみならず、県内・県外の芸術関係者が目標とする発表の場を提供することにより、市民が芸術に触れる機会を拡充することができます。
- ✓ だれもが気軽に秋田市の芸術や文化に触れることができ、豊かな心を育み、秋田市に愛着を持つ人が増加することが期待されます。



目標指標と目標値

目標指標

芸術文化施設の利用者数を目標値とします。

※芸術文化施設は、あきた芸術劇場ミルハス、県立美術館、千秋美術館、佐竹史料館を対象

目標値の設定

- 目標値はR9年度の芸術文化施設の利用者数とします。
- 県立美術館、千秋美術館、佐竹史料館は独自目標値、あきた芸術劇場ミルハスはR4年度の実績から目標値を算出しております。

目標指標	現況 (R4)	目標値 (R9)
芸術文化施設利用者数 (1日あたり)	1,782人/日	2,300人/日

フォローアップ

- 最終目標値はR9年度の2,300人/日とし、各施設の利用者数について毎年フォローアップを行い、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しなどを行います。

目標
03

暮らしたくなるまち

これまでの取組

■「秋田版CCRC事業」により、地域社会との連携や医療ケアなどの機能を有した集合住宅「クロッセ秋田」が完成したことが呼び水となり、中心市街地周辺に複数のマンション建設が予定されています。

千秋久保田町線



クロッセ秋田



今後の取組方針

暮らしのための環境整備

今後の主な取組

秋田市住宅リフォーム支援事業

住宅リフォームへの支援により居住の継続を図るとともに、マンション等の空き室の活用促進と移住促進による定住人口の増加を図る事業です。中心市街地においては他地区よりも有利な支援を行っています。



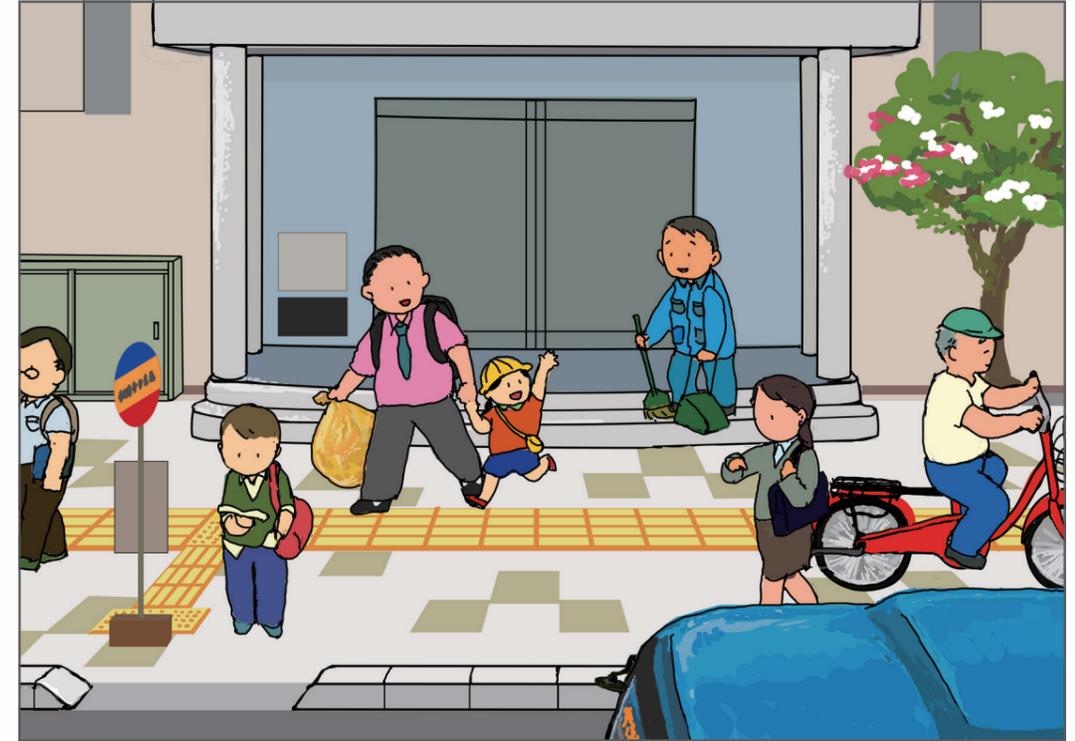
千秋久保田町地区優良建築物等整備事業

中心市街地において、適正に管理されことなく長期間にわたり空きビルとなっていた低未利用地に、街なか居住の受け皿となるマンションを整備する事業です。土地の利用の共同化・高度化や市街地環境の向上が事業効果として見込まれます。



これらの事業の推進によって、下記のような効果が期待されます！

- ✓ リフォーム等により既存の住宅を有効活用し、中心市街地の居住人口の増加が期待されます。
- ✓ 新たな道路網の整備や土地利用の高度化により、中心市街地への居住の促進が図られます。



目標指標と目標値

目標指標

市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合を目標値とします。

目標値の設定

- 目標値は中心市街地におけるR9年度の市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合とします。
- 現在の割合は1.4%であり、第1期計画以降のH21～R4年度の人口変動や秋田市住宅リフォーム支援事業、今後のマンション建設などを踏まえ、目標値を設定しています。

目標指標	現況 (R4)	目標値 (R9)
市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合	1.4%	1.9%

フォローアップ

- 最終目標値はR9年度の1.9%とし、秋田市全域および中心市街地における人口の増減について毎年フォローアップを行い、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しなどを行います。

目標
04

チャレンジできるまち

これまでの取組

■ 空き店舗等への出店にかかる費用等を補助する中心市街地商業集積促進補助制度の利用件数が順調に推移しており、中心市街地における出店意欲の高まりが見られます。

商店街の街並み



チャレンジオフィスあきた（外観）



今後の取組方針

商店街等の魅力向上と活性化への支援

今後の主な取組

中心市街地等空き店舗対策事業

中心市街地への商業集積を促進し、空き店舗および空きテナントを解消することで更なる中心市街地のにぎわい創出を目指す事業です。



チャレンジオフィスあきたの運営

事業経験豊富な事業アドバイスのプロが常駐し、事業成功へのプロセスの支援や事業に必要な知識、ノウハウなどを幅広く提供する創業支援施設であるチャレンジオフィスあきたの運営を行う事業です。



これらの事業の推進によって、下記のような効果が期待されます！

- ✓ 空き店舗や空きテナントが減少することで商店街の活性化が期待されます。
- ✓ これまでの商店主に加え、新たにチャレンジする外部からの商店主・事業主が増加します。
- ✓ 既存の商店街と新たなチャレンジの場が融合し、個性的で魅力あふれる商店街になることが期待されます。



目標指標と目標値

目標指標

商業集積促進関連制度の利用件数を目標値とします。

目標値の設定

- 目標値はR5～R9年度の商業集積促進関連制度の利用件数の累計とします。
- 第2期計画において、目標値を大幅に上回った実績を維持することとし、目標値を設定します。

目標指標	現況 (H29～R3)	目標値 (R5～R9)
商業集積促進関連制度の利用件数(累計)	181件	181件

フォローアップ

- 最終目標値はR5～R9年度累計の181件とし、制度利用件数について毎年フォローアップを行い、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しなどを行います。

市民がつくるまち

これまでの取組

■ 秋田拠点センターALVE、にぎわい交流館AU、秋田市文化創造館を中心に、市民活動の場を提供しています。芸術文化を切り口に、将来のまちづくりを見据えたソフトやネットワークづくり等に継続的に取り組んでいく文化創造プロジェクトが令和3年3月に開館した秋田市文化創造館を拠点に行われています。

秋田市文化創造館



市民交流サロンの様子



今後の取組方針

まちに関わりまちを楽しむひとづくり

今後の主な取組

文化創造プロジェクト

市民協働による文化創造のまちの実現に向け、秋田市文化創造館を拠点に、まちに関わり、まちを楽しむ市民の活動の創出や、人と人のつながりを生み出すなど、芸術文化を切り口に、将来のまちづくりを見据えたソフトやネットワークづくり等の継続的な取組を実施する事業です。



市民協働・市民活動支援事業

秋田拠点センターALVE内の市民交流サロンにおいて、市民活動に係る各種講座の開催や情報提供、市民活動支援アドバイザーによる相談業務を行う事業です。



これらの事業の推進によって、下記のような効果が期待されます！

- ✓ まちに来る人々が、主体的に楽しむことができる環境が形成されます。
- ✓ 市民が新たな活動を主体的に実施する場が提供されます。
- ✓ まちへのさまざまな関わり方、さまざまな人と人とのつながりが生まれ、中心市街地のにぎわい向上が期待されます。
- ✓ 市民活動による日常的なにぎわいの創出が期待されます。



目標指標と目標値

目標指標

市民活動等における施設利用の件数を目標値とします。
※対象施設は、にぎわい交流館AU、市民交流プラザ、市民交流サロン、秋田市文化創造館

目標値の設定

- 目標値はR9年度の市民活動等における施設利用の件数とします。
- 新型コロナウイルス感染拡大前のR元年度の水準まで回復することを目指します。

目標指標	現況 (R3)	目標値 (R9)
市民活動等施設利用件数	17,082 件/年	19,700 件/年

フォローアップ

- 最終目標値はR9年度の19,700件/年とし、各施設の利用件数について毎年モニタリングを行い、進捗状況を確認します。
- 進捗状況に応じて、取組の見直しなどを行います。